

「ア
ンソ
ジ
ー」

そろ ぶ
揃い踏み!



コンビニであった泣ける話

朝来みゆか ほか著

2020年
マイナビ出版



黒猫を飼い始めた

講談社 編

2023年
講談社



本書は日々の生活で疲れているあなたに、一粒の涙を届けるために作られました。

収録されているのは、(悲しいのではなく)感動して泣ける短編が12編。

そこには、あなたの好みのストーリーがきっと見つかります。

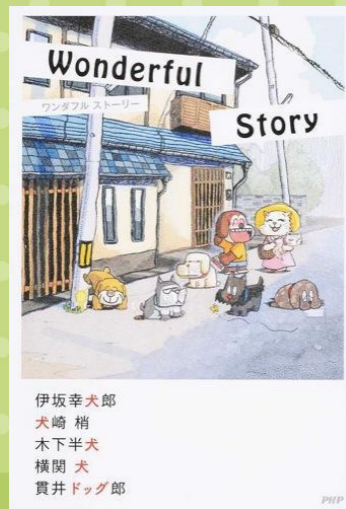
本書では「コンビニ」にまつわる、出会いや別れのエピソードを掲載しました。

会員制読書倶楽部、Mephisto Readers Club(MRC)で配信(公開)されたショートショート集。

書き出しの1行「黒猫を飼い始めた。」は、全員共通。2行目からはそれぞれの作家が自由に想像を膨らませ、生み出された26編。

ワンダフル ストーリー Wonderful Story

伊坂幸太郎 ほか著



2015年
PHP研究所



昔話でおなじみの犬もいれば、地名の由来になった犬もいる。はたまた、悪者が連れてきた犬もいるし、人のために働く盲導犬や、やたらと見つめてくる犬も…。

犬にちなんだペンネームに改名(!?)した人気作家5人による犬をテーマにした5つの物語。

7人の名探偵

綾辻行人 ほか著



2017年
講談社



テーマは「名探偵」。新本格ミステリブームを牽引したレジェンド作家による書き下ろしミステリ競演。ファン垂涎のアンソロジーが誕生！

綾辻行人 「仮題・ぬえの密室」

歌野晶午 「天才少年の見た夢は」

法月綸太郎 「あべこべの遺書」

有栖川有栖 「船長が死んだ夜」

ほか

折りたたみ北京

現代中国
SFアンソロジー

ケン・リュウ 編

2018年
早川書房



百合小説コレクション wiz

アサウラ ほか著

2023年
河出書房新社



北京、異形の都市。この街は貧富の差により三層のスペースに分割され、24時間ごとに世界が回転・交替し、建物は空間に折りたたまれていく。緻密にして巨大なルービックキューブ型都市の社会と文化に翻弄される男の冒険を描いた郝景芳(ハオ・ジンファン)による表題作など、7人の作家の13作品を、短篇の名手ケン・リュウが精選し英訳。

いま最注目中国SF、その最前線を奔る作家たちが満を持して放つアンソロジー。

恋慕、友愛、情念…女性同士の様々な関係性を捉える“百合”。大きなうねりを見せるこの世界に名手たちが挑む。

信条が恋人をすれ違わせる斜線堂有紀「選挙に絶対行きたくない家のソファで食べて寝て映画観たい」、
“百合を創る”営為を問う深緑野分「運命」、ある写真が記憶と今を結ぶ宮木あや子「エリアンタス・ロバートソン」など、百合小説の精華8篇を収めた珠玉のアンソロジー。

ショートショートドロップス

新井素子 編

2021年
KADOKAWA



ある朝やってきたベビーシッターはぬいぐるみ！？アルバイトで着ぐるみのウサギの頭をかぶると不思議なものが見えて…。短くて、すらすら読めて、面白さ太鼓判！とびきりのお話を新井素子が厳選。

いろいろな味が詰まったドロップの缶詰のように、ときめきや切なさ、驚きに怖さも、読み心地さまざまな15の物語。ものの数分で非日常の世界へと連れて行ってくれる、超・豪華執筆陣による極上のショートショート・アンソロジー。

夜に駆ける YOASOBI小説集

星野舞夜 ほか著

2021年
双葉社
(文庫)



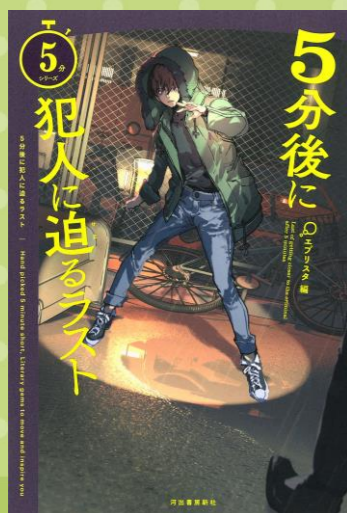
コンポーザーのAyase、ボーカルのikuraからなる「小説を音楽にするユニット」YOASOBI。第1弾楽曲『夜に駆ける』は、Billboard Japan Hot 100で2020年の年間1位を獲得し、その後も活動の幅を広げている。

そんなYOASOBIの楽曲(『夜に駆ける』『あの夢をなぞって』『たぶん』『アンコール』)の原作小説4作と関連作品を収録。

5分後に犯人に迫るラスト

エブリスタ 編

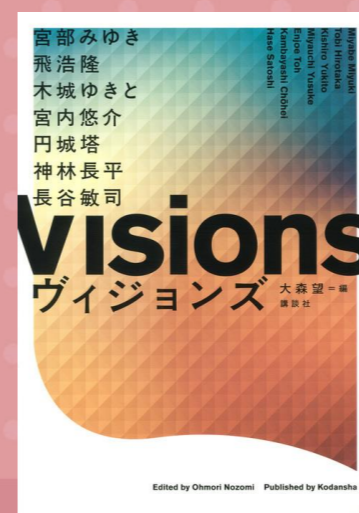
2022年
河出書房新社



ヴィジョンズ

宮部みゆき ほか著

2016年
講談社



人気のミステリー短篇集第2弾！
小説投稿サイト・エブリスタに集まった
10万作超から選ばれた傑作ミステリー9
篇を収録。

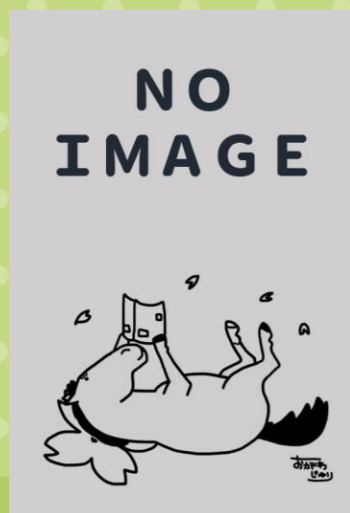
本書は、小説投稿サイト「エブリスタ」
が主催する短編小説賞「三行から参加でき
る超・妄想コンテスト」入賞作品から、さ
らに選りすぐりのものを集め、大幅な編集
を施したものです。

常識を震わせる、7つの風景—。
宮部みゆき「星に願いを」—ありふれた
日々を稲妻のように切り裂く、思いがけな
い出来事とは？ 宮内悠介「アニメとエー
ファ」—人間ならぬ存在はいったいどんな
物語を紡ぐのか？ 円城塔「リアルタイム
ラジオ」—ワールドの外にはリアルタイム
が存在し、そこからラジオが流れてくる…。
豪華執筆陣による7編を収めたSF短編
アンソロジー。

とっておきのおやつ。

青木祐子 ほか著

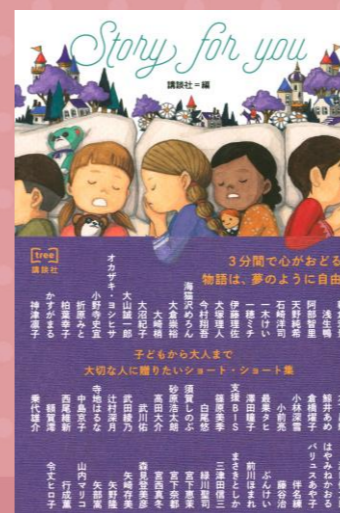
2018年
集英社



Story for you

講談社 編

2021年
講談社



“レンタルフレンド”を依頼した女子大生は、なぜデザートブッフエに行きたいのか、神社のキツネに運命の恋をした少女とたい焼き、年の差姉妹をつなぐ秘密とフレンチトースト、御曹司ふたりが作るプリンアラモード、見知らぬおじさんに「あんみつと一緒に食べてくれないか」と頼まれた俺。一甘くて可愛いだけじゃない、どこかスパイスの効いたおいしい話。全五編！

一分間で心がおどる。
物語は、夢のように自由。

ファンタジー、青春、エンタメ、児童文学、歴史・時代小説、BL、純文学、動画、ミステリ、漫画、詩、SF……
豪華絢爛62人の著者が描くワクワク、ドキドキ、ビックリの62編！

100万分の1回のねこ

江國香織 ほか著

2018年
講談社
(文庫)



短編アンソロジー 学校の怪談

集英社文庫編集部 編

2022年
集英社



佐野洋子の絵本『100万回生きたねこ』は、一九七七年に発売されて以来、今なお多くの人に読まれ続けている大ロングセラー。

本書は、江國香織、谷川俊太郎をはじめとする十三人の作家や挿絵画家が、佐野洋子とこの絵本に敬意を込めて書き上げた短篇集。愛と死、生きることについて深く考えさせられる。

毎日通っている学校には、なぜだか恐ろしい噂話や言い伝えがいっぱい。もう使われていない旧校舎にいる「誰か」の噂、学校の七不思議の最後の一つ、いつもと違う通学路に蠢く黒いドロドロ、演劇部に代々伝わる「軍服」のお芝居の謎、校庭の隅の祠にまつわる古い記憶…学校を舞台に、気鋭の作家陣による書下ろし作品6編を収録した珠玉のアンソロジー。

ラストで君は「まさか！」と言う 春の物語

P H P 研究所 編

2020年
P H P 研究所



わたしを変えた恋

櫻いいよ ほか著

2022年
スターツ出版



3分で読める人気シリーズ第12弾!
雛祭り、ホワイトデー、エイプリルフール、始業式…春に読みたいショートストーリー25話。

ラストは「まさか！」のエンディングをお約束!

転校生の彼と出会い、諦めがちだった性格が変わっていく女の子（『ラストメッセージ』望月くらげ）、「月がきれい」と呟き、付き合うことになったふたり（『十六夜の月が見ていた』犬上義彦）、互いに惹かれ合ったふたりの最後のデートの一日（『このアイスクャンディは賞味期限切れ』櫻いいよ）。

恋するすべての人が共感する切ない恋の短編集。

はじめての

島本理生 ほか著

2022年
水鈴社



ひとりぼっちの教室

小林深雪 ほか著

2017年
講談社



「はじめて」は、
いつも痛くて、少し優しい——。

文芸の最前線で活躍する4人の直木賞作家が、“小説を音楽にする”ユニットYOASOBIとコラボレーションし、小説、音楽、映像など、さまざまなジャンルで作品を展開しながら物語世界をつくりあげていく、壮大なプロジェクトが始まりました。小説のテーマは、「はじめて○○したときに読む物語」。

「もし、今日、わたしが、死んだら、明日、泣いてくれる人間は、このクラスに何人いるんだろう？ 一人もいないかもね」

YA! アンソロジー第7弾。「いじめ」をテーマに、加害者、被害者、傍観者の立場だけに終わらない、リアルな学園ドラマを届けます。

小林深雪 『友達なんかいない』

吉田桃子 『転生☆少女』

ほか